

令和3年度個人研究費研究課題

国際関係研究所 個人

氏名	研究課題
有木 永子	コロナ禍におけるオンラインカウンセリングの活用可能性
伊坂 裕子	日本人の価値観, QOLに影響を与える要因
伊藤 雅俊	残留日本兵をルーツとする日系インドネシア人二世の日系人意識
大井川 朋彦	英語におけるcan及びcan'tの発音・聴取指導に関する研究
大淵 三洋	近世諸藩の財政改革の濫觴と燎原-後編Ⅱ-
小副川 琢	内戦終結及びその後の国内和解・復興プロセスの比較調査
小田 正規	貿易自由化交渉に向けた食品インセンティブ問題の解消に関する研究
小野 健太郎	家族関係の研究(相続, 親子, 遺留分などを中心に)
ジェルベ オリビエ	過去パラメーターの推定方法の検討に関する研究
オリベイラ ディエゴ	Ending Notes and Preparation for the end of life in Japan
笠原 孝太	スターリン時代の日ソ関係史およびソ連政治史の研究
加藤 秀治	第二次世界大戦後から高度経済成長期までの全国レクリエーション大会に関する研究
金崎 賢希	医薬品産業における企業の異質性・多様性一進化論的視点から
川口 智彦	東北アジアの国際関係と北朝鮮(継続)
菅野 直之	グロティウスにおける海賊概念
熊木 秀行	英語教授法の方向性に関する研究および約款における法律英語表現の特徴研究
小代 有希子	日米交流におけるテレビテクノロジーと「精神の文明」
宍戸 学	観光のグローバル化と地域の人材育成に関する研究
杉本 宏昭	Thomas Hardyの芸術性に関する研究ならびにVictoria朝文化研究
角田 哲康	ウナムーノとスペイン内戦
高塚 浩由樹	アルベール・カミュ『手帖』と自伝的テキストのフィクション化
高橋 カ也	戦間期国際法の法典化と日本国際法学会
武井 勲	アメリカにおける人種・民族・移民と格差の考察
武田 英俊	国際収支マニュアルの改訂が国際取引の実態把握に及ぼす影響と課題
建宮 努	国際財務報告基準の日本企業への影響研究及び、老化とアンチエイジングビジネス研究
蓼沼 智行	高度情報社会におけるマーケティング戦略の変容
鄭 勳燮	国際政治の中の日韓安全保障協力
陳 怡禎	東アジアにおける「女性趣味共同体」に関する研究
M.デル ヴェッキオ	Applied English Language Studies
永井 雄一郎	宇宙空間における国際秩序の形成と米国の宇宙政策
生内 裕子	英語教職課程「英語科教育法」の授業における指導案作成の効果的指導
橋本 由紀子	フロベールとキリスト教および複言語教育研究
濱屋 雅軌	近現代の文化伝達媒体に関する歴史的考察
平野 明彦	ヤスパース哲学の現代的意義について
富士原 雅弘	実科高等女学校の組織変更過程に関する研究
A. M. ヴァーラ	Reflections on ERT
アーウィン・ブラッドリー	伊豆88遍路の神社の歴史を探る
本間 祥子	大学における年少者日本語教育の教員養成プログラム構築に向けた研究
眞嶋 麻子	「途上国開発の現地化」についての再検討ー現地化政策の導入背景
松本 佐保	国際文化学部の国際関係学部における位置づけと、国際政治学の接点について明らかにする
P.マルティネス	明治時代における女性作家、翻訳家とフェミニズム
宮城 博文	観光開発に対する住民の参加・協力意図に関する分析枠組みの開発
宗形 賢二	20世紀初頭アメリカ大衆文化におけるオリエンタリズムの研究
安酸 香織	中近世アルザス史の総合的研究
安元 隆子	ロシア極東地域及び北海道における戦争の記憶とアイヌ民族の形象化
藁科 智恵	20世紀初頭ドイツにおける宗教と学問 アスコーナにおける学的活動に焦点をあてて
川戸 秀昭	EUIにおけるミクロの地域主義の台頭と理論的背景
永田 美江子	ツーリズムと地域火星の現状と課題ー伊豆・北海道・京都ホスピタリティ産業の比較分析ー
津山 智行	フィンテック(Fin Tech)に関する研究(フェーズ5)
東馬 宏和	組織効率性と組織内効率性影響要因についての研究
スティーブン ドレイジ	Stylistic Features of Scholarly Journal Abstracts

国際関係研究所 共同

氏名	研究課題
伊藤 雅俊	コロナ禍における滞日外国人の生活世界の再構築